



# 穂学

令和6年度 広州日本人学校  
学校だより No.1  
令和6年4月15日  
発行責任者 校長 大久 耕

「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童・生徒の育成」に向けて

校長 大久 耕

4月11日に始業式、12日に入学式を挙行いたしました。34名の転入生と77名の新入生（小学部48名、中学部29名）を迎え、今年度は388名でのスタートとなります。

さて、本校は1982年（昭和57年）に補習授業校として児童3名で開校いたしました。その後、広東省教育庁の認可を受け1995年（平成7年）に全日制の日本人学校（児童生徒18名）となりました。それから数えて今年度は30年目に当たります。その間、保護者、広州日本商工会、日本国総領事館等の皆様方に支えられながら、ここまで発展してまいりました。

学校教育目標に「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童・生徒の育成」をあげ、「つながりを未来に実感させる広州日本人学校の創造」のスローガンのもと、教育活動を進めてまいりたいと存じます。

ここでの生活や学習が、広州日本人学校を離れても大切な経験として、子供たちに刻まれ、その学びを糧に将来も子どもたちが、それぞれの場所で学び続け、やがて国際社会の中で活躍できるように、①授業、②子供たち同士、③保護者・日本人社会、④中国・広州、そして⑤教職員とのつながりを大切にしながら教育活動を進めてまいります。



さて、始業式では、わけんあいご「和顔愛語」せんいじょうもん「先意承問」（和やかで穏やかな笑顔と慈愛に満ちた温かい言葉を発し、相手の気持ちを慮って先んじて動くこと）という言葉を取り上げ、学校生活を楽しいものにするために、「笑顔」と「優しい言葉遣い」を忘れないでほしいと話をいたしました。私自身が、他人との関わりにおいて、大切にしている言葉でもあります。

また、ラグビーを例に挙げ、強いチームは一人一人の特長の違いを組み合わせることでできる。素晴らしい広州日本人学校を創るためには、お互いの違いを理解し合い、どう生かしていけばよいかを考えながら生活していくことが大事であり、3月の修了式では最高の学校、最高の1年だったと宣言しましょうと伝えました。

始業式では、児童生徒代表として、生徒会長が「AAA(あいさつ・安全・明るい笑顔)」のスローガンを取り上げ、あいさつであられる学校にしていくことを通して、明るく素晴らしい学校にしていこうと呼びかけてくれました。

日本人学校を支えてくださる皆様方への感謝を忘れず、またこれまで長い間受け継がれてきた広州日本人学校の良さを引き継ぎながら、今年度も職員が一丸となり、教育活動を進めてまいりたいと存じます。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 令和6年度 着任職員の自己紹介



おおひさ こう 大久 耕	校 長	広州の子どもたちに会えることを、楽しみにしてまいりました。JSGが最高の場所となるよう努力してまいります。
つちや くみ 土谷 久美	中学部	中学 2-1 担任の土谷久美です。兵庫県から来ました。一緒に英語を頑張りましょう。
まるやま たかし 丸山 貴史	小学部	人との出会いは財産になります。広州の子どもたちと出会い、共に学び、共に成長していきたいです。よろしくお願いいたします。
いとう つよし 伊藤 剛志	中学部	広州の暑さに負けないよう、明るく熱く頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。
みやその やすし 宮園 康史	小学部	石川県から来ました。「学校は楽しい所」です。そう思えるように一人一人とのつながりを大切にしていきます。
さかきばら しょうこ 榊原 晶子	中学部	小学部の図画工作と中学部の美術、家庭科を担当します。共に表現する時間を楽しみましょう。
たにむら みさき 谷村 美咲	小学部	子どもたちが充実した学校生活を送られるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。
いとう あきこ 伊藤 明子	小学部	子どもたちが毎日「学校、楽しかったよ!」と笑顔で言えるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。
くわそえ けいしゅう 桑添 慶洲	中学部	日々全力で子供達と向き合い、充実した毎日を過ごしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。
とりい えり 鳥居 英里	養護教諭	福井県から来ました。子どもたちが毎日健康に過ごせるようにサポートさせていただきます。よろしくお願いいたします。
つほい さや 坪井 沙耶	小学部	千葉県から来ました。子どもたちとの関わりを大切に、一緒に成長していきたいと思えます。
いちかわ こうた 市川 広太	中学部	福島県から来ました。保健体育科です。一緒にたくさん汗を流して心も身体も鍛えていきましょう。
かわかみ りょうすけ 川上 亮輔	小学部	岐阜県から参りました。子どもたちとたくさん一緒に学んで、一緒に遊びたいと思えます。



広州日本人学校校章 (2000年4月制定) デザイン: 金子守久氏

校章に込められた3つの「G」(Guangzhou, Good friend, Growing)  
日中両国の子どもたちが、協力し、助け合って、共に成長してほしいという願いを込めたもの。